

大同が7連勝！ 女子は“3強”が同勝点に!!

～第34回日本ハンドボールリーグ・第9週～

第34回日本ハンドボールリーグ第9週は、11月7、8日に愛知などで男女各3試合が行われ、男子では開幕から連勝を続ける大同特殊鋼が2位につける大崎電気を24-19と一蹴、V4王者の貫禄を見せた。女子はオムロンが首位の北國銀行に21-19と競り勝ち、三重バイオレットアイリスに順当勝ちしたソニーセミコンダクタ九州とともに“上位3強”同勝点で並ぶ結果となった。

男子注目の大同-大崎戦は、白の7mスローで先制した大同に対し、大崎も小澤のサイド、豊田の速攻で逆転に成功、その後も岩永がロングを連続して決めるなどして18分8-4と優位に立った。一方、ここでタイムアウトを取った大同も守りからリズムをつかみ、速攻などで追いつけ24分8-8の同点に並ぶ。ここからは両チームGKの好セーブの応酬もあり、引き締まった試合内容となり、2本の7mスローを決めた大崎が10-9と1点リードで前半を終えた。後半に入ると、大同が武田のステップシュート、サイドシュートなどで加点すれば、大崎も岩永がルーズボールに飛び込む執念を見せるなどで一進一退の展開に。しかし、7分、10分と続いた太田の退場を機に大同がペースアップ、16分18-14としたあと野村の連打でさらに点差を広げた。大崎もあきらめずに反撃したが、試合巧者の大同は白を軸に鋭い攻撃を仕掛けて大崎の4:2ディフェンスを寸断、残り4分から決定的な3連打を奪って全勝を守った。

湧永製薬-琉球コラソンは、前半立ち上がりに高田のカットインで先制した琉球が、積極的なプレスディフェンスで湧永の動きやボール回しを封じ、なかなか得点を与えなかった。中盤過ぎまで一進一退が続いたが、残り5分になって湧永は琉球の退場に乗じて木村、福田の連続得点で3点差として前半終了。後半に入ると湧永のディフェンスが機能し、パスカットからの速攻や坂本の得点などで後半10分23-17と混戦を抜け出すと、その後も試合を支配して37-26で勝利を握った。敗れはしたが、琉球もセンター水野裕紀を軸に8得点をマークしたサイド志慶真や東らで最後まで果敢に戦い抜く健闘ぶりが光った。

女子のハイライトとなったオムロン-北國戦は、東濱のカットインで好スタートを切ったオムロンが、その後も洪、城内のシュートなどで得点を重ね、GK藤間の好守もあり前半10分過ぎまでに8点を連取した。いきなり大きなダメージを受けた北國は、上町の7mスローを皮切りに4連続得点して反撃に転じたものの、前半は14-8とオムロン6点リードで終了。後半に入ると両チームとも激しい攻防が展開され、後半9分過ぎから横嶋らで4連続した北國が13分17-18と1点差まで肉薄した。残り10分を切ってから互いに激しく攻めるが、GKのファインセーブもあって膠着状態となり、19-18とオムロンリードは変わらなかった。ともに決め手を欠いた終盤、23分に高田の速攻が決まって2点差としたオムロンが、その後の北國の反撃を上町の7mスローによる1点のみに抑え、21-19ときわどく逃げ切った。

鹿児島でのソニー-三重バイオレットアイリス戦は、立ち上がり三重の攻勢を許して開始5分2-6と先行されたソニーが、すぐさまタイムアウトを取って態勢を立て直し、連続得点を重ねて17分10-10の同点とし、さらに20分過ぎから三重の連続退場に乗じて5点を連取、そのままリードをキープして前半を終えた。後半に入ってGK毛利を中心とする三重が懸命に食ひ下がり、残り5分28-32と4点差まで迫ったが、ここから高橋らで3連続したソニーが三重の追い上げをかわした。

(2ページへ続く)



④7連勝を飾った大同特殊鋼・白⑥北國銀行に競り勝ったオムロン・藤間

第10週の日程

11月14日(土)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道「観音町」下車徒歩5分)	13:00～	(男)	北 陸 電 力 × 大 同 特 殊 鋼
	沖縄	浦添市民体育館(琉球バス乗車「浅野浦」下車徒歩1分)	13:00～	(男)	琉 球 コ ラ ソ ン × 大 崎 電 気
11月15日(日)	宮城	大和町総合体育館(市営地下鉄線泉中央駅バス20分)	14:00～	(男)	ト ヨ タ 紡 織 九 州 × 湧 永 製 薬



トヨタ車体・高智

トヨタ車体が5勝目をマーク

7日愛知での男子・豊田合成-トヨタ車体戦は、高智の強打で先制した車体が、銘苅、門山でたたみかけて開始5分までに4点を連取。ここでタイムアウトを取った合成は、左右へのアウト攻撃を仕掛け、森光が右サイドから4本のシュートを決めるなどして追撃を図った。しかし、車体は門山、高智の多彩な攻撃や、途中出場のG K坪根が7mスローをシャットアウトする好守もあり、前半16-10としてUターン。後半は両チームとも速攻から点を取り合うハイテンポな戦いとなり、車体が合成の前に出るディフェンスに対してサイド、ポストで着実に加点したのに対し、合成は車体の厚い守りを攻めきれず、車体が前半のリードを守って5勝目をあげた。4連勝の車体は3敗ながら勝点で2位に浮上した。

広島での女子・広島メイプルレッズ-H C名古屋戦は、名古屋が広島の3:2:1ディフェンスを攻めあぐみながらも、なんとかディフェンスで粘り、先行する広島に食い下がる展開となった。しかし、前半なかばから広島・植垣のシュートが決まり出すと、試合の流れは一気に広島に傾いていき、20-8と広島が12点も大差をつけて折り返した。後半に入っても広島は攻撃の決め手を欠く名古屋を一方的に攻め立て、シュートミスは多かったものの着実にリードを広げ、33-13の大差をつけて勝利を握った。

次週は男子3試合が予定され、上位でしのぎを削る宮城でのトヨタ紡織九州-湧永製薬戦の行方が注目される。上昇ムードの琉球コラソンは地元で大崎電気相手にどんな戦いを挑むか。最下位の北陸電力は首位の大同特殊鋼相手とはいえ、地元で浮上のきっかけをつかみたい。女子は世界選手権のためのブレイク期間に入り、再開は来年1月からとなる。

◆ 11月7日(土) 女子 愛知・稲沢市総合体育館

オムロン	21 (14-8)	19	北國銀行
7勝0分2敗	(7-11)		7勝0分2敗
<1/1>	K 勝田	寺田	K <0/2>
3/6	城内	鰺場	0/1
4/6	高田	上町	4/12 2/3
0/0	巻	宮前	1/5
0/0	市村	佐久川	0/0
3/4	4/11 藤井	川井	0/0
0/0	石立	中村	1/1
0/2	坂元	横嶋	5/8
4/7	洪廷昊	野路良	1/1
<0/2>	K 藤間	田代	K <1/2>
0/0	勝連	仲宗根	2/10
0/0	吉田薫	井上	0/1
0/0	永田	八十島	0/0
3/10	東濱	若松	3/8

3/4 18/42 8(FPP)10 17/47 2/3
審判(池淵・檜崎) 観客 728人

◆ 11月7日(土) 男子 愛知・稲沢市総合体育館

トヨタ車体	30 (16-10)	24	豊田合成
5勝0分3敗	(14-14)		1勝2分5敗
K 木下	大立	K	
2/3	石戸	榊原	0/0
4/5	佐々木	原	1/1
4/4	高智	大橋	0/1
0/1	安藤	桶谷	1/5
2/3	藤田	中島	4/9
3/4	高木	森光	8/13 0/1
0/0	北出	藤村	K
1/2	小沢	今村	6/13
4/6	鶴谷	中村	1/1
<1/1>	K 坪根	芳仲	1/3
0/2	崎前	藤堂	K
3/5	銘苅	米本	1/1
7/11	門山	中	1/3

0/0 30/46 1(FPP)4 24/50 0/1
審判(本田・田淵) 観客 1232人

◆ 11月7日(土) 男子 愛知・稲沢市総合体育館

大同特殊鋼	24 (9-10)	19	大崎電気
7勝0分0敗	(15-9)		4勝1分2敗
<0/1>	K 田中	浦和	0/1
3/3	野村	小澤	3/5
0/1	4/9 末松	前田	0/4 1/1
0/0	浦田	中川	1/3
0/0	地引	豊田	2/4 3/4
8/13	武田	望月	0/3
2/3	岸川	永島	1/2
<1/2>	K 高木	太田	0/3
1/1	千々波	横地	0/3
0/1	山城	森	1/2
<1/3>	K 東	岩永	4/4
2/2	2/9 白元喆	内田	1/1
0/0	松永	猪妻	2/4 0/1
2/2	2/2 渡久川	吉田	K <1/3>

2/3 22/41 7(FPP)14 15/39 4/6
審判(家永・福島) 観客 1293人

◆ 11月7日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター

広島メイプル レッズ	33 (20-8)	13	H C名古屋
3勝0分6敗	(13-5)		0勝0分9敗
<0/1>	K 堂面	近藤	K <0/1>
5/8	土屋	池田	2/5
6/10	村山	佐藤	2/4
2/4	河田	高橋瑛	1/1
5/8	大前	鈴木	1/3
2/3	4/8 植垣	菅谷	2/6 3/3
0/2	栗本	外本	0/1
2/5	伊藤	上野	1/4
1/4	五月女	高橋玲	1/4
<0/2>	K 横田	家城	K <1/2>
2/4	安齋	秋山美	0/1
0/0	石山	長谷川	0/0
0/3	高山	脇田	0/0
4/5	新城		

2/3 31/61 5(FPP)5 10/29 3/3
審判(浜田・小笠原) 観客 341人

◆ 11月7日(土) 女子 鹿児島・霧島市国分体育館

ユニセコング 九州	35 (21-16)	28	三重バレー トリス
7勝0分2敗	(14-12)		3勝0分6敗
K 中島	浅井	K	
7/18	郭恵静	横川	3/5
4/10	長野	桂	3/5
8/12	高橋	宮下	3/6
5/7	田中	谷口	2/2 1/2
0/0	山田	北村	0/0
4/6	工藤	橋本	5/12
0/0	儀間	野本	0/0
5/6	高栖	毛利	K <0/2>
0/0	黒木	星野	1/2
<2/4>	K 飛田	小川	0/0
0/0	佐師	伊藤	9/15 1/2
0/0	飯田	島崎	0/0
2/2	0/0 東		

2/2 33/59 5(FPP)15 26/47 2/4
審判(亀井・堀川) 観客 648人

◆ 11月8日(日) 男子 広島・湧永満之記念体育館

湧永製薬	37 (15-12)	26	琉球 コラソン
4勝0分2敗	(22-14)		1勝1分5敗
K 志水	久高	1/3	
0/1	4/8 谷村	村山	2/6
7/10	木村	水野矢	0/1 1/1
5/8	坂本	東	4/8
0/0	濱本	池田	2/3
3/5	山中	志慶真	8/12
3/5	福田	内田	K
<0/1>	K 吉田	内山	1/1
3/4	佐藤	田場	0/0
2/2	2名 嘉	高田	4/5
1/1	今井	石田	K <1/5>
K 松村	水野紀	3/3	
1/3	山口		
4/4	4/6 東長濱		

4/5 33/52 6(FPP)22 25/42 1/1
審判(浜田・小笠原) 観客 405人

男女個人ランキング 第9週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	門山 哲也	(トヨタ車体)	57 点	(8試合)	1	上町 史織	(北 國 銀 行)	79 点	(9試合)
2	末松 誠	(大同特殊鋼)	51 点	(7試合)	2	郭 惠静	(ソ ニ ー)	61 点	(9試合)
3	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	48 点	(7試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	57 点	(9試合)
4	神田 友和	(北 陸 電 力)	47 点	(8試合)	4	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	55 点	(7試合)
5	今村 彰伸	(豊 田 合 成)	42 点	(8試合)	5	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	54 点	(9試合)
6	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	40 点	(7試合)	5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	54 点	(9試合)
7	志慶真龍我	(琉球コラソン)	37 点	(7試合)	7	高橋 恵	(ソ ニ ー)	51 点	(9試合)
7	武田 享	(大同特殊鋼)	37 点	(6試合)	8	高栖 由香	(ソ ニ ー)	42 点	(9試合)
9	銘苅 淳	(トヨタ車体)	36 点	(8試合)	9	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	38 点	(9試合)
10	村山 裕次	(琉球コラソン)	35 点	(7試合)	10	洪 廷昊	(オ ム ロ ン)	37 点	(9試合)
11	東長濱秀作	(湧 永 製 薬)	34 点	(6試合)	10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	37 点	(9試合)
12	森光 勇太	(豊 田 合 成)	33 点	(8試合)	10	菅谷 美奈	(H C 名 古 屋)	37 点	(9試合)
13	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	31 点	(6試合)	13	若松 里佳	(北 國 銀 行)	36 点	(9試合)
13	小澤 広太	(大 崎 電 気)	31 点	(7試合)	14	工藤 麻衣	(ソ ニ ー)	34 点	(9試合)
13	白 元喆	(大同特殊鋼)	31 点	(7試合)	15	仲宗根 彩	(北 國 銀 行)	32 点	(9試合)

フィールド得点

1	門山 哲也	(トヨタ車体)	57 点	(8試合)	1	郭 惠静	(ソ ニ ー)	61 点	(9試合)
2	神田 友和	(北 陸 電 力)	47 点	(8試合)	2	上町 史織	(北 國 銀 行)	58 点	(9試合)
3	末松 誠	(大同特殊鋼)	45 点	(7試合)	3	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	54 点	(9試合)
4	今村 彰伸	(豊 田 合 成)	42 点	(8試合)	4	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	43 点	(9試合)
5	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	40 点	(7試合)	5	高栖 由香	(ソ ニ ー)	42 点	(9試合)
5	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	40 点	(7試合)	5	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	42 点	(9試合)
7	武田 享	(大同特殊鋼)	37 点	(6試合)	7	高橋 恵	(ソ ニ ー)	40 点	(9試合)
8	志慶真龍我	(琉球コラソン)	36 点	(7試合)	8	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	38 点	(9試合)
9	小澤 広太	(大 崎 電 気)	31 点	(7試合)	8	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	38 点	(7試合)
10	坂本 伸博	(湧 永 製 薬)	30 点	(6試合)	10	洪 廷昊	(オ ム ロ ン)	37 点	(9試合)
10	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	30 点	(6試合)	10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	37 点	(9試合)
10	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	30 点	(7試合)					

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	45点/ 69射 0.652	1	高栖 由香	(ソ ニ ー)	42点/ 48射 0.875
1	坂本 伸博	(湧 永 製 薬)	30点/ 46射 0.652	2	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	54点/ 69射 0.783
3	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	40点/ 62射 0.645	3	洪 廷昊	(オ ム ロ ン)	37点/ 62射 0.597
4	志慶真龍我	(琉球コラソン)	36点/ 57射 0.632	4	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	38点/ 66射 0.576
5	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	30点/ 49射 0.612	5	上町 史織	(北 國 銀 行)	58点/ 101射 0.574

7mスロー得点

1	銘苅 淳	(トヨタ車体)	14 点	(8試合)	1	上町 史織	(北 國 銀 行)	21 点	(9試合)
2	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	12 点	(7試合)	2	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	17 点	(7試合)
3	東長濱秀作	(湧 永 製 薬)	11 点	(6試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	15 点	(9試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	11 点	(7試合)	4	菅谷 美奈	(H C 名 古 屋)	14 点	(9試合)
5	森光 勇太	(豊 田 合 成)	10 点	(8試合)	5	高橋 恵	(ソ ニ ー)	11 点	(9試合)
					5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	11 点	(9試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	8本/ 12射 0.667	1	勝田 祥子	(オ ム ロ ン)	6本/ 13射 0.462
2	東 直明	(大同特殊鋼)	3本/ 8射 0.375	2	家城 千香	(H C 名 古 屋)	8本/ 19射 0.421
3	藤田 東吾	(豊 田 合 成)	3本/ 9射 0.333	3	浅井友可里	(バイオレットアイリス)	4本/ 13射 0.308
4	田中 雄大	(大同特殊鋼)	2本/ 7射 0.286	4	近藤 澄江	(H C 名 古 屋)	5本/ 17射 0.294
5	吉田 耕平	(大 崎 電 気)	3本/ 11射 0.273	5	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	4本/ 14射 0.286

第 34 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第9週終了 11月8日

順位	男 子	大 同 特殊鋼	トヨタ 車 体	大崎電気	ト ヨ タ 紡織九州	湧永製薬	豊田合成	琉 球 コラソン	北陸電力	試合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	大 同 特 殊 鋼		30 ○ 23	24 ○ 19	35 ○ 29	32 ○ 26	48 ○ 24	35 ○ 24	36 ○ 23	7	7	0	0	14	240	168	72
2	ト ヨ タ 車 体	23 ● 30		25 ● 36	27 ● 28	32 ○ 30	30 ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 ○ 17	8	5	0	3	10	228	215	13
3	大 崎 電 気	19 ● 24	36 ○ 25		30 28 △ ○ 30 26	21 ● 28	43 ○ 18		28 ○ 24	7	4	1	2	9	205	175	30
4	トヨタ紡織九州	29 ● 35	28 ○ 27	30 26 △ ● 30 28			40 ○ 21	36 ○ 28	30 ○ 23	7	4	1	2	9	219	192	27
5	湧 永 製 薬	26 ● 32	30 ● 32	28 ○ 21			39 ○ 23	37 ○ 26	35 ○ 17	6	4	0	2	8	195	151	44
6	豊 田 合 成	24 ● 48	24 ● 30	18 ● 43	21 ● 40	23 ● 39		22 △ 22	22 24 △ ○ 22 17	8	1	2	5	4	178	261	-83
7	琉 球 コ ラ ソ ン	24 ● 35	23 27 ● ● 33 30		28 ● 36	26 ● 37	22 △ 22		33 ○ 29	7	1	1	5	3	183	222	-39
8	北 陸 電 力	23 ● 36	17 ● 28	24 ● 28	23 ● 30	17 ● 35	22 17 △ ● 22 24	29 ● 33		8	0	1	7	1	172	236	-64

順位	女 子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコン ダクタ九州	三重バイオ レットアイリス	広島メイプル レッズ	HC名古屋	試合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	オ ム ロ ン		25 21 ● ○ 30 19	27 36 ● ○ 28 21	23 ○ 16	33 36 ○ ○ 17 15	40 37 ○ ○ 11 14	9	7	0	2	14	278	171	107
2	北 國 銀 行	30 19 ○ ● 25 21		33 23 ○ ● 27 31	29 30 ○ ○ 21 18	34 31 ○ ○ 28 22	37 ○ 16	9	7	0	2	14	266	209	57
3	ソニーセミコンダクタ九州	28 21 ○ ● 27 36	27 31 ● ○ 33 23		32 35 ○ ○ 20 28	45 ○ 26	42 42 ○ ○ 15 20	9	7	0	2	14	303	228	75
4	三 重 バ イ オ レ ッ ト ア イ リ ス	16 ● 23	21 18 ● ● 29 30	20 28 ● ● 32 35		27 21 ● ○ 28 15	30 31 ○ ○ 15 16	9	3	0	6	6	212	223	-11
5	広 島 メ イ プ ル レ ッ ズ	17 15 ● ● 33 36	28 22 ● ● 34 31	26 ● 45	28 15 ○ ● 27 21		36 33 ○ ○ 20 13	9	3	0	6	6	220	260	-40
6	H C 名 古 屋	11 14 ● ● 40 37	16 ● 37	15 20 ● ● 42 42	15 16 ● ● 30 31	20 13 ● ● 36 33		9	0	0	9	0	140	328	-188

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。